

「まちカフェ」の参加者の声、届けます

7月からはじまり、幅広い年齢の方が集まっている「まちカフェ」。松帆銅鐸をはじめ、沼島や慶野松原など、歴史を感じられる名所を多く持つ南あわじ市だからこそ、市の魅力発信をテーマにした体験プログラムの企画が次から次へと生まれています。3月号の発行となる「まちカフェ新聞」では、カフェに参加して下さる3名の方の声をお届けします。読者の皆さんのご参加も、お待ちしております！

地域や人との繋がりが加速し、 目標がハッキリ！スッキリ！

大阪から引越して来て1年近くなり、この土地で南あわじらしい「ミツロウエコラップ」を作りたいと考えていたところ、「辰美の会」と一緒に活動している友人から、「まちカフェ、おもしろそうだよ！」と誘ってもらい参加することにしました。途中参加でしたが、色々なものを商品化している人たちとの出会いに、背中を押していただいています！



アロマビオ
兵庫 つげこさん

子どもから大人まで、 誇れる故郷南あわじ市作りへ

人と人とのつながりはもちろんですが、この「まちカフェ」を通して、自分が暮らすこの町を知り、もっとたくさんの人たちに発信することができたら、より多くの方が故郷について考えるきっかけになるのではないかと？そんな想いを持ちながら、我が自慢の南あわじ市のために、皆さんと一緒に考え、楽しく参加させていただいております。



船越 奈美さん

様々な世代が交流して歴史を知る！ 自分の思いを町につなげられるか？

松帆銅鐸の発見をキッカケに、「歴史(まちを知る。まちを想う。)」というテーマで集まった皆さん。仕事もいろいろ、世代もいろいろ、集まった人との意見交換からひらめいた「○○できたら、いいな！」を、「○○できる！」に変えていくチャンスや学びがいっぱいです。私にとって、町のことを一緒に発信していける仲間づくりができる場所ですね！



西淡路地区活性化推進協議会
代表
並木 智香子さん

TAKE
FREE

MINAMI-AWAJI
MACHI CAFE NEWSPAPER

私たちの南あわじは 私たちが つくるう！

まち
カフェ
新聞

古代の文化財特集

- 1 日光寺銅鐸 森田住職に聞きました！
- 2 ともに暮らす 地域と寄り添う寺の存在

まちカフェ、盛り上がっています

- 1 参加者の声、届けます
- 2 古代フェスティバル、ついに開催
- 3 2017年を振り返る

市民のチカラで、

古代を伝える。



2017年を振り返る！ イベント情報 EVENT INFORMATION



2017年7月～9月
「まちカフェ」はじまる！

場所 三原志知市民交流センター



2017年10月～12月
「日本遺産フェス」を目標に！

場所 南あわじ市中央公民館



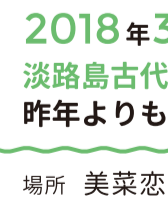
2017年11月17日
日本遺産フェスティバル
初のお披露目！来場者多数！

場所 洲本市文化体育館



2018年1月～3月
動画プロジェクト、始動！

場所 南あわじ市中央公民館



2018年3月4日
淡路島古代フェスティバル
昨年よりも大盛り上がり！

場所 美菜恋来屋、イングランドの丘



3月4日(日)に、 淡路島古代フェスティバルが 開催されました！

昨年よりも注目度が高まる松帆銅鐸イベント

2015年の松帆銅鐸の大発見をキッカケに、注目が集まる淡路島や南あわじ市の「歴史」、この魅力をPRするべく、昨年の松帆銅鐸イベントが大幅にパワーアップ。会場となった美菜恋来屋には、見た目も華やかな銅鐸に関するグッズや体験イベントブース並び、同時開催にも歴史ファンがたくさん集まって、子どもも大人も楽しめる大盛り上がりな一日となりました。



うれしい声が届きました！

- すごくたのしかったし、いろんなことができてよかった。さいしょは売れるかしんばいだったけど、たくさん売れたらすごくうれしかった。またしたい。(1年生 女)
- とくに、実演してみても楽しかったです。お客さんに、しづおりを織るのは、楽しい？と聞かれて、とてもきんちょうしました。でも、お客さんに、興味を持ってもらえたので、良かったです。(6年生 女)
- しづおりをうるのが、うる人のしんどさや気持ちがわかったので楽しかったです。(3年生 女)
- おきゃくさんがいっぱいきてくれたり、売れてよかった。このけいけんはわすれられない思い出です！！(3年生 女)
- 倭文小学校ではみんなが知っている「しづおり」だけど、「しづおり」を知らない人に織り方を教えるのは難しかったです。でも、「しづおり」を知ってもらえて嬉しかったです。もっともっと「しづおり」を広めたいと思いました。(6年生 女)



松帆銅鐸のことが詳しくわかる特設サイト
南あわじ市 松帆銅鐸 検索

<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/matsuhodotaku/>



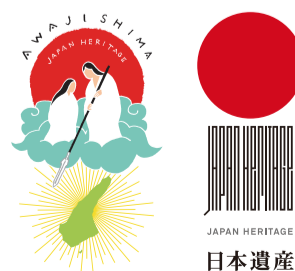
facebook
ページはこちら

<https://www.facebook.com/matsuhodotaku/>



南あわじ市 松帆銅鐸

検索



1600年代に発見された、国指定重要文化財

食の宝庫である慶野。
大地の恵みへの感謝を
銅鐸が教えてくれる。

日光寺 住職 森田俊寛さん

2000年前の慶野の土地に、

銅鐸を手に入れることができるほどの

力のある民が住んでいたことと、

この土地で、玉葱やお米が

バッグンに美味しく育つことと。

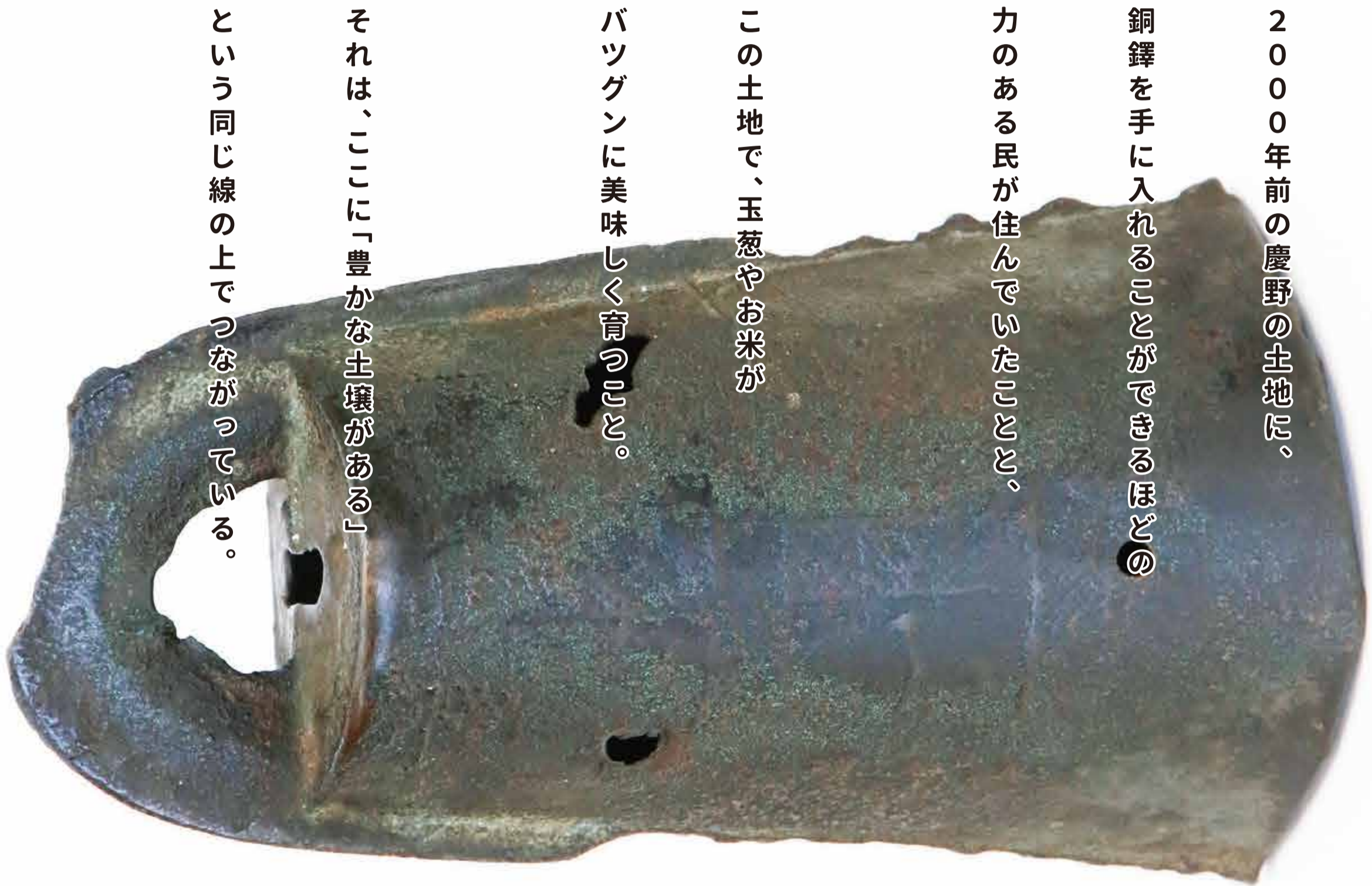
それは、「ここに」豊かな土壌がある「

という同じ線の上でつながっている。

銅鐸は、静かに何も語りはしないけど、

私たちは、私たちが暮らす土地に

想いを馳せることができるのだ。



日本遺産に選ばれた文化財の1つが「お寺に保管されている!」。どんな経緯で?どんな想いをもって?そんなことをお聞きしたくて、森田住職に突撃インタビュー。銅鐸が今に伝える「地域の誇り」について、お聞きすることができました。



1686年に発見された 国指定重要文化財の銅鐸

播磨灘をのぞむ慶野村から出土し、弥生時代の新しい祭りに海の民が携わったことを想像させる銅鐸。1686年の大水で中の御堂近くの谷が崩れ、8個の銅鐸が出土したという歴史的な記録は、「宝鐸御屈写(ほうたくおんとどけうし)」という古文書として日光寺に残されています。8個のうち、全てが残っているわけではありませんが、1個は徳島城、1個は日光寺へ残り1個は末寺の成福寺へ行ったと言われています。現在、日本では銅鐸は500余り、舌は38本発見されています。銅鐸と舌が一緒に出土しているのは、日光寺銅鐸、松帆銅鐸と鳥取県の泊銅鐸のみと、とても珍しい発見のされかたをしています。

全国的にも珍しい特徴の 紋様を持つ日光寺銅鐸

日光寺銅鐸の身(音を響かせる本体)の部分には、上を向いた2本の線と長い首につながるアーモンドのようなカタチの体が描かれています。「一般的に多く見られる銅鐸に、よく描かれる動物は鹿か猪なのですが、動物の絵の中に、おそらく角ではないか?と思われる線があるので、この動物は鹿ではないかと専門家は考えています。また、鈕(ちゅう)銅鐸を釣り上げる部分に描かれる装飾は、ノギリの歯のような三角形の模様を描かれるのが一般的ですが、日光寺銅鐸は扇状に格子模様が広がっており、全国的に見ても非常に特徴的な紋様を持つ銅鐸です。300年以上も前の発見から銅鐸が残っていることが、奇跡のようですね。

ともに暮らし、ともに楽しむ

3月5日に開催された「開山忌」では、法要や落語家、月亭八方師匠による落語会など、地元の保存会の皆さんとともに、盛会のうちに終えることができました。日光寺を開かれた聖徳太子様は、「みんな、仲良く」という教えを残してくださっているのです。だからこそ、これからも、お寺を地元の皆さんのため、だんじりのお祭、子どもたちへの寺子屋など、とんとん活かしていきたいです。



地元の大切な存在であるために

助けてほしいときに「助けて」と言える。感謝を伝えるときに「ありがとう」と言える。これが、いい地域の1つのカタチだと思うんですね。地元的笑顔をつなげる場所。お寺でありたい。松帆銅鐸の発見のニュースを、地域にとつてのプラスにするために、「慶野が「ええ土地」ということを発信していく。玉葱や慶野松原の知名度がさらに高めたり。地元にとつての発信を、僕も考えていきたいですね!

